



報道発表

秋葉神社における浜松のお茶の熟成について

浜松市の茶業振興を目的とした「浜松市茶振興協議会」では、浜松のお茶のブランド化を目指し、「秋葉山熟成茶」を開発いたしました。

熟成茶は、壺に詰めた茶葉を適切な環境で貯蔵することで、茶葉の香り・旨味が変化することが特徴です。標高が高く、気温・湿度の変化を受けにくい秋葉神社は熟成に非常に適しています。

今回、浜松市茶振興協議会は下記のとおり秋葉神社にお茶の熟成・保管に参ります。

熟成は10月頃まで行われ、熟成後は参加者による販売やイベントの実施等を通してPRをしていく予定です。

記

日時：令和3年5月24日（月）

午前10時00分～午前10時45分 熟成茶保管

場所：秋葉山本宮 秋葉神社 上社（浜松市天竜区春野町領家841）

参加者：市内お茶生産者・販売者（浜松市茶振興協議会ブランド化推進グループ）



昨年の様子



秋葉山熟成茶

【お問い合わせ】

浜松市茶振興協議会事務局（産業部農業振興課）

TEL：053-457-2332